



# 2020年度 アジア学院 学生&研究科生 農村指導者養成研修

アジア学院は、1973年の創立以来アジア、アフリカ、太平洋諸国等の農村地域から、その土地に根を張り、その土地の人々と共に働く”草の根の”農村指導者を学生として招き、栃木県那須塩原のキャンパスで、国籍、宗教、民族、習慣、価値観等の違いを認めつつ、公正で平和な社会実現のために、毎年9か月間の実践的な学びを行っている学校です。

毎年22~30名の学生を10数カ国から招いていますが、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、都市封鎖、国境閉鎖、ビザの失効などの理由で19名の入学予定者の来日の途が閉ざされました。

今年度は様々な制限がある中ではありますが、集められた11名の学生と共に研修を行い、今年入学できなかった19名が2021年度に研修が受けられるよう、世界各地の新型コロナウイルスの感染拡大の終息を願ってまいりたいと思います。

① ニックネーム・ARI Nickname

② 活動内容・Activities

## インド



ショータイ・ドーゾ  
Mr. Shothayi Dozo

グレースホーム・クツクノ  
Grace Home Khutsokhuno

教師/コミュニティリーダー  
Teacher, Community leader

① ドーゾ

② 私は教師として働きながら、コミュニティリーダーとして教会を通じた青少年活動を続けてきました。アジア学院の研修では、有機農業やコミュニティ開発について学びたいと思っています。研修後は、私の部族であるチャケサンの人々の健康な生活を支えるためにもグレースホーム・クツクノでの奉仕活動を続けていきたいです。

## インドネシア



オーガスティヌス・アディル  
Mr. Agustinus Adil

ムバタ聖テレサ教会教会  
Parish Church of St. Theresa in Mbata

農家  
Farmer

① アグス

② 私は専業農家で、ポラン（根菜）、コーヒー、カカオを換金作物として育てています。2002年以来、私はさまざまな種類の10,000本以上の木を植えました。私はアジア学院で有機農業技術、リーダーシップ、コミュニティ開発スキルを学び、自分が学んだことを自分の地域の農家と共有できるようにしたいと思っています。

## ベトナム



タン・ティ・ビク・トラン  
Ms. Tran Thi Bich THANH

The That Duongベトナム  
The That Duong Vietnam

社会奉仕/女性・少年グループリーダー  
Community volunteer

① タン

② 私は女性や子供たちを中心としたコミュニティで働いています。コミュニティでは、自然農法で食料を作り都市部の消費者に安全な生産物を販売しています。農業、環境そして、生態系について学びたいと思っています。アジア学院では、コミュニティ内での共同体生活について学びを深め、研修の中で様々な技術を習得したいです。

## ケニア



セレスティン・ンデムバ・ミツァンゼ  
Ms. Celestine Mitsanze

参加型開発研修所  
Institute of Participatory Development

プロジェクトファシリテーター  
Project Facilitator

① セレスティン

② 私は地域のグループを通して、若い世代と女性の能力を高めたり、様々な気付きを促したりしています。歌やダンスを通して、環境教育、若年妊娠や HIV・エイズの予防、麻薬の危険性などを伝え、コミュニティに働きかけをしています。アジア学院では、有機農業の技術を学び、それをを用いて安全な食を自給できるコミュニティを目指したいです。



マーティン・ギクンダ・キリギア  
Mr. Martin G Kirigia

ケニアメソジスト教会  
Methodist Church in Kenya

農村・都市開発調整員  
Rural and Urban Development Administrator

① マーティン

② 私の任務は地域の農家が収入を増やし家族を支えることができるように、農家の人々の能力を高めていくことです。技術的なアドバイスをするために、ほぼいつも農村の農業研修センターで仕事をしています。私はアジア学院でリーダーシップ、ジェンダー問題、開発、持続可能な農業の技術を実践的に学び、自分の知識を増やしていきたいです。



ムワリム・シェヘ・ムズング  
Mr. Mwalimu Shehe Muzungu

ガリーニ・チルドレンセンター・オーガニック  
ファームデモンストレーションファーム  
Magarini Children Center and Organic Farming  
Demonstration Farm

農場監督者  
Supervisor, Vegetables and Cereals

① ムワリム

② 私は団体の子どもたちの食料生産をする傍ら、ギリアマ人のコミュニティと協力して働いています。ギリアマの人々は極度の貧困に苦しみ、疎外されて生活しています。私はアジア学院の農村指導者研修に参加して、コミュニティ全体で共有できる新しい技術を学びたいと思っています。そうすることによってもっと農業を活性化し、同時にそれが私たち自身を愛することにつながると考えています。

## ガーナ



ジョシュア・オフォリ・スタ  
Mr. Joshua Ofori Suttah

ガーナ長老教会  
Presbyterian Church of Ghana

コミュニティファシリテーター  
Community Facilitator

- ① ジョシュ
- ② 私は農業に従事していて、教会の若者を対象とした農業と家畜のプログラムも担当しています。多くの若者は仕事を探するために家を離れていってしまうので、帰国後はアジア学院での学びを活かして、教会の若者が生計を立てられるように3か月毎の研修を組み立てていきたいです。

## ルワンダ



サイダティ・ムロルクウェレ  
Ms. Saidath Murorunkwere

Dufatanye (共に育つという意味)  
Dufatanye Organization

地域ソーシャルワーカー  
Community Social Worker

- ① サイラブ
- ② 私は自分のコミュニティを支えていきたいと強く願っています。私の地域の人口のほぼ40%が貧困の中で暮らしています。コミュニティの人々にとっては小規模農業が主な職業であり、私は、コミュニティで人々と共有できる技術をアジア学院で学びたいです。栄養豊かな食事を摂ることができれば健康状態も改善し、子供たちは学校に行けるようになります。

## 日本



眞木 凌  
Mr. Ryo Maki

2019年度アジア学院卒業生  
2019 ARI Graduate

- ① リョウ
- ② 私は熱帯気候の地域で活かせる循環型農業を学びたいと思っています。特に北スマトラ地方でインターンをした経験があるため、インドネシアに興味があります。将来の目標は、インドネシアのNGOで働くことを通じて、現地の農家の人々と共に働きながら学びを促し、開発を実践することです。

## 日本



木村 勇太  
Mr. Yuta Kimura

- ① ユウタ
- ② 私は食品会社でマネージャーとして働いていました。その経験は、私に管理、食品加工、人と協働することを教えてくれました。アジア学院では学生として、有機農業の技術、サーバントリーダーシップ、学びの共同体について理解を深めたいです。アジア学院卒業後はJICA海外協力隊として、ケニアで農民と共に、コミュニティ開発に携わります。



小松原 啓加  
Ms. Hiroka Komatsubara

- ① ヒロカ
- ② 私は“自然を守り、環境を壊さない”持続可能な農業について学ぶためにアジア学院に来ました。今年中央大学の政治学部を卒業したばかりですが、技術と経験をアジア学院で積んでいながら国際協力のキャリアをスタートし、国際開発に情熱を注いでいきたいと考えています。

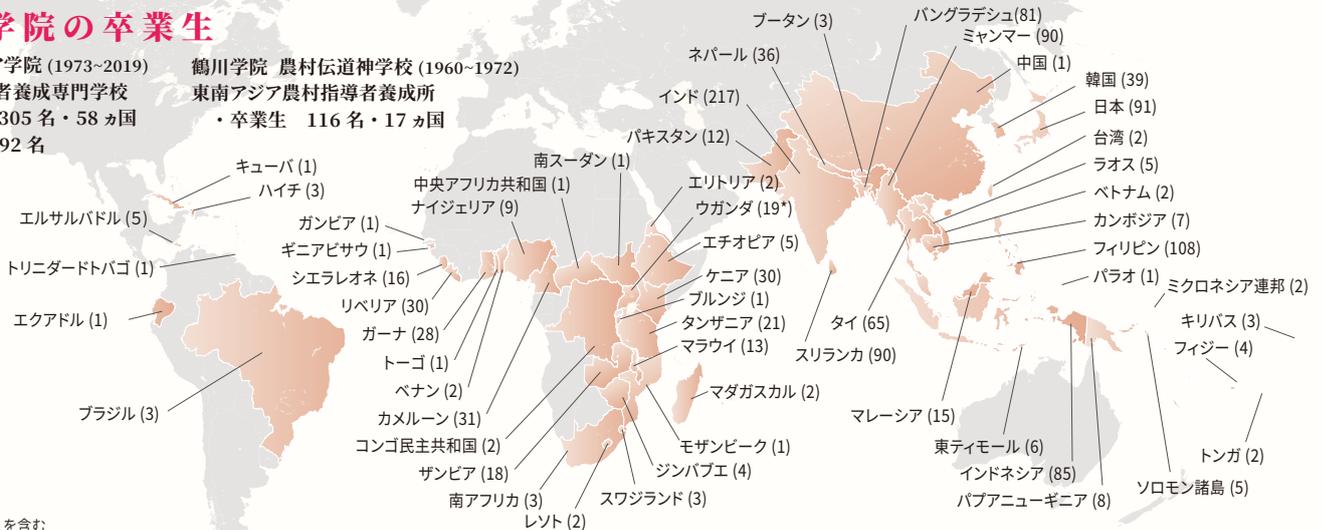
### 研究科生 卒業生インターン (GI)

アジア学院の日本人卒業生は、卒業の次年度に研究科の卒業生インターン(GI)に応募する資格を持ちます。卒業生インターンは特定の一分野に焦点を当てて、その分野のより深い理解と幅広い経験を培います。さらにアジア学院の構成メンバーとして、生活のあらゆる場面において重要な役割を担います。

卒業生の中には、卒業後または帰国後にもう一度アジア学院で自分の専門分野の研究や研修の継続を希望するものもあります。アジア学院では、研究科生(トレーニング・アシスタント/卒業生インターン)という制度を設け、そのような卒業生が目的を持って学びを深められる機会を提供しています。

## アジア学院の卒業生

学校法人 アジア学院 (1973~2019) 鶴川学院 農村伝道神学校 (1960~1972)  
 アジア農村指導者養成専門学校 東南アジア農村指導者養成所  
 ・本科生 1,305名・58ヵ国 ・卒業生 116名・17ヵ国  
 ・研究科生 92名



\* 無国籍の難民 1人を含む

## サポーターとして世界の農村指導者の未来に投資しませんか？

アジア学院では、研修を受ける金銭的な余裕のない草の根の指導者に研修の機会を提供するため、日本への渡航費、研修費をほぼ全額負担しています。こういった学生の学費を含む学院の運営は皆様のご支援によって成り立っています。

学生一人当たりにかかる1年間の費用は、授業料と生活費が合わせて172万円、渡航費が25万円(平均)です。サポーターとして継続的に世界の農村指導者養成にご支援頂ける方を募集しています。詳細はお電話又はホームページからお問い合わせください。

### 寄付控除について

2,000円以上の寄付に対しては特定公益増進法人への寄付に対する税の減免措置がございます。ご希望の方には「減免措置領収書」をお送り致しますのでその旨お知らせください。

### 郵便振替

振込口座：郵便振替 00340-8-8758  
口座名義：学校法人 アジア学院  
お名前、電話番号、郵便番号、住所をご記入くださいますようお願いいたします。

### 銀行振込

【足利銀行】  
支店名：西那須野支店  
口座番号：(普通預金)112403  
口座名義：学校法人 アジア学院

【ゆうちょ銀行】(手数料が安くなります)  
記号：10700 番号：8002711  
口座名義：学校法人アジア学院



共に生きるために

www.ari-edu.org

〒329-2703 栃木県 那須塩原市 槻沢 442-1

TEL 0287-36-3111 FAX 0287-37-5833 EMAIL info@ari-edu.org

学校法人 **アジア学院**  
アジア農村指導者養成専門学校